



Ideas & Chemistry

2018.5.11

# 2017年度決算説明会



Catalyzing the Unimagined

想像を超える化学反応を。



Ideas & Chemistry

[www.toyobo.co.jp](http://www.toyobo.co.jp)

東洋紡株式会社  
取締役社長  
檜原誠慈

# 目次

- I. 2017年度決算の概況**
- II. 2014年中期経営計画の総括**
- III. 2018年度業績見通し**
- IV. 2018年中期経営計画**

## I. 2017年度決算の概況

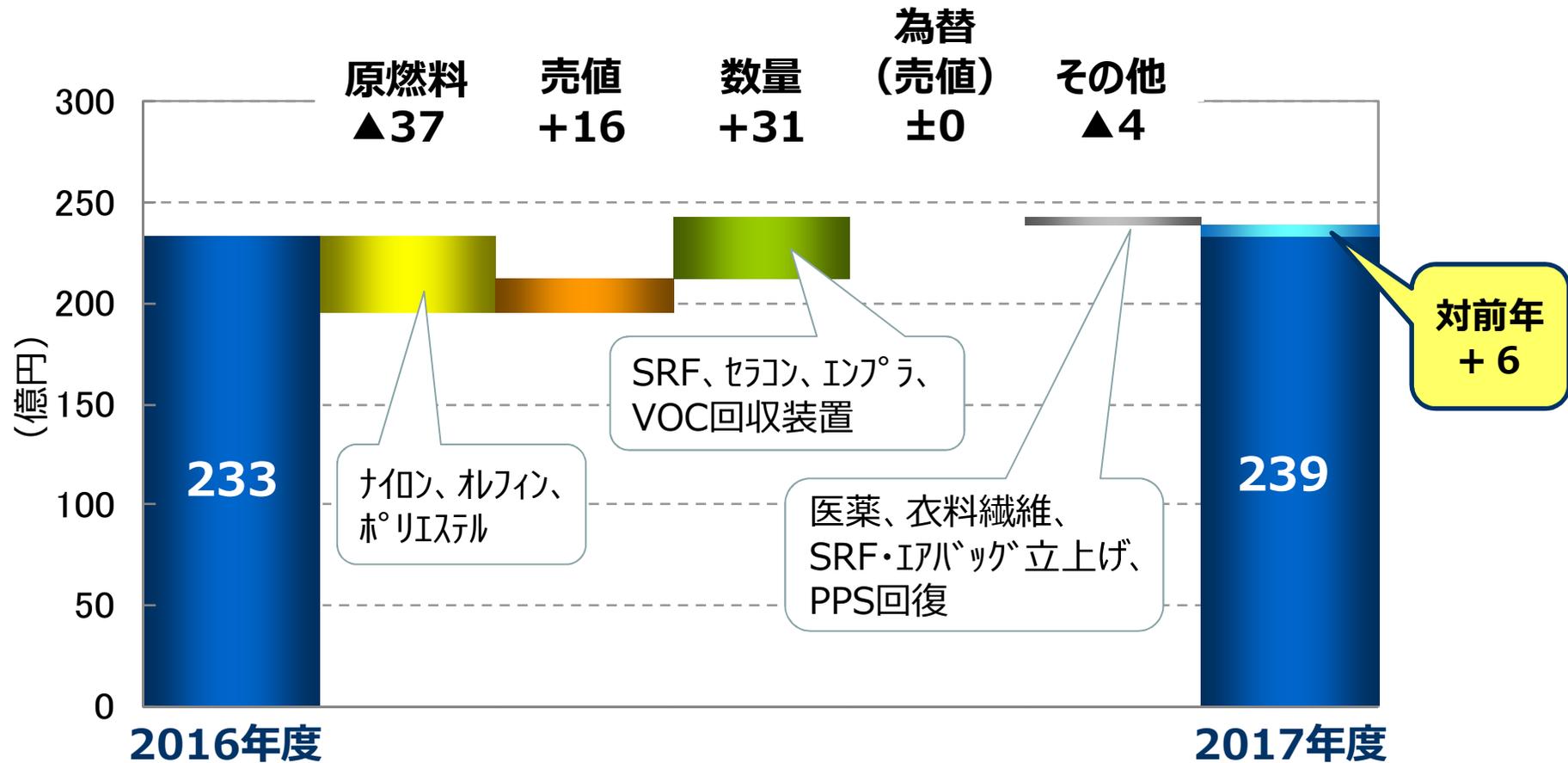
## 2017年度決算のポイント

- 営業利益は 239億円（2.5%増）も、計画の250億円に届かず
- 原燃料高の影響大。加えて、医薬、衣料繊維が苦戦
- “コスメインSRF”、セラコン用離型フィルム、エアバッグ用基布は成長ステージへ
- 課題のD/E レシオは、0.81（中計目標<1.0）を達成

(億円)

	2016年度 実績	2017年度		増減('16→'17) %
		計画	実績	
売上高	3,295	3,400	3,311	+0.5
営業利益	233	250	239	+2.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	94	135	130	+38.1
D/E レシオ	1.01	<1.0	0.81	-

## 営業利益の増減要因（前年比）



	2016年度			2017年度		
	上	下		上	下	
為替レート (円/US\$)	105	112	109	111	111	111
国産ナフサ (千円/kl)	32	38	35	38	46	42

## 決算概要 PL・CF

	2016年 実績	2017年度		増減('16→'17)	
		計画	実績	金額	%
売上高	3,295	3,400	3,311	+17	+0.5
営業利益	233	250	239	+6	+2.5
(営業利益率)	7.1%	7.4%	7.2%	-	-
経常利益	207	230	204	-2	-1.1
特別利益	5	0	115	+110	+2,350
特別損失	72	32	137	+65	+90.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	135	130	+36	+38.1
EPS (円) ※	106.4	152.1	146.9	-	-
減価償却費	149	155	157	+7	+4.9
設備投資	184	190	213	+29	+15.8
営業CF	269	-	224	-45	-16.8
ROE	5.8%	-	7.5%	-	-

(億円)

## ■ 特別利益

・本社ビル売却益  
104億円

## ■ 特別損失

・ザイロン訴訟和解金等  
74億円

※EPSは株式併合後の値

為替レート (円/US\$)	109	110	111	-	-
国産ナフサ (千円/kl)	35	42	42	-	-

## 決算概要 BS

(億円)

	14/3末	17/3末	18/3末	増減金額 (17/3→18/3)
総資産	4,563	4,508	4,462	-46.3
現預金	193	323	260	-63.2
棚卸資産	754	728	713	-14.7
純資産	1,451	1,709	1,845	+136.0
自己資本	1,423	1,678	1,806	+127.9
(利益剰余金)	264	459	561	+102.0
非支配株主持分	28	31	40	+8.2
有利子負債	1,707	1,692	1,456	-236.4
D/Eレシオ	1.20	1.01	0.81	-

■ D/E レシオ  
中計目標 < 1.0 達成

■ 格付け

JCR	A-	→	A
R&I	BBB+	→	A-

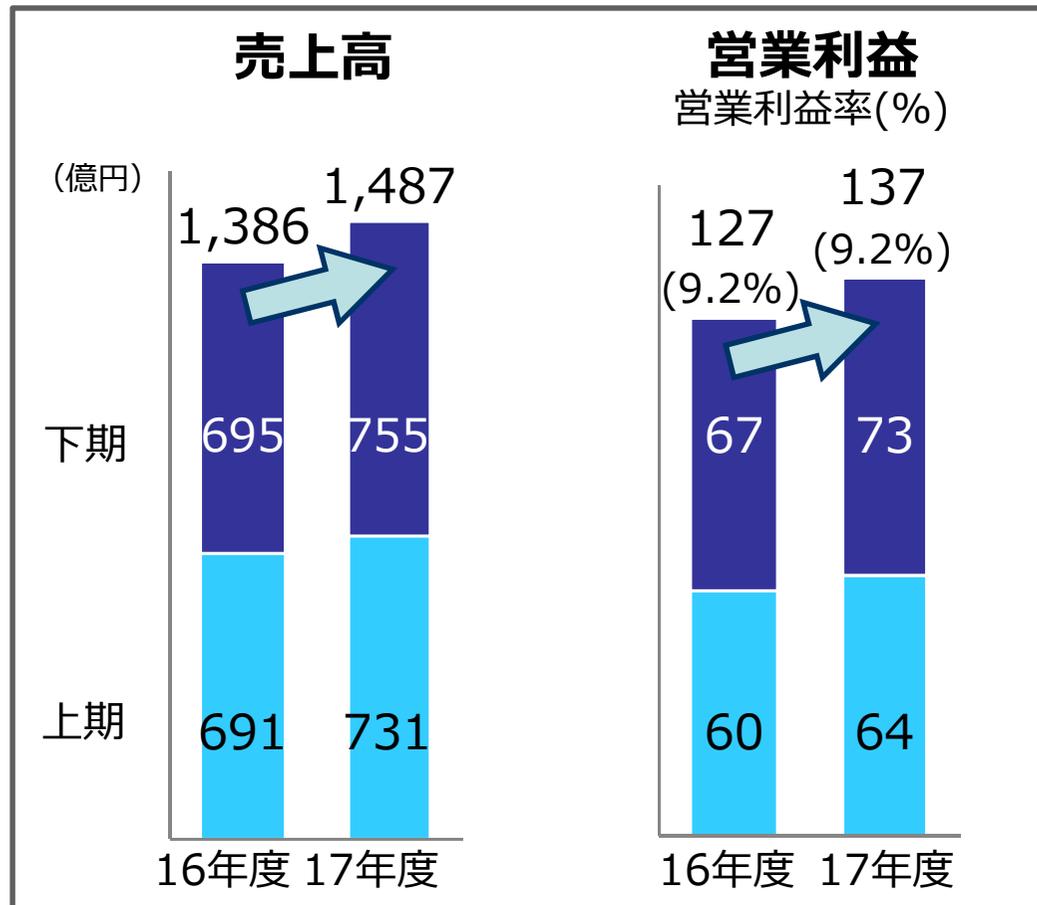
## 決算概要 セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			増減金額 ('16→'17)
	2016年度	2017年度		2016年度	2017年度		
	実績	計画	実績	実績	計画	実績	
フィルム・機能樹脂	1,386	1,480	1,487	127	147	137	+10
産業マテリアル	599	619	635	39	43	43	+4
ヘルスケア	364	409	357	52	52	52	-1
繊維・商事	776	743	683	11	7	6	-4
不動産・その他	170	149	150	33	27	28	-5
消去・全社	-	-	-	-29	-26	-27	+2
合計	3,295	3,400	3,311	233	250	239	+6

## フィルム・機能樹脂

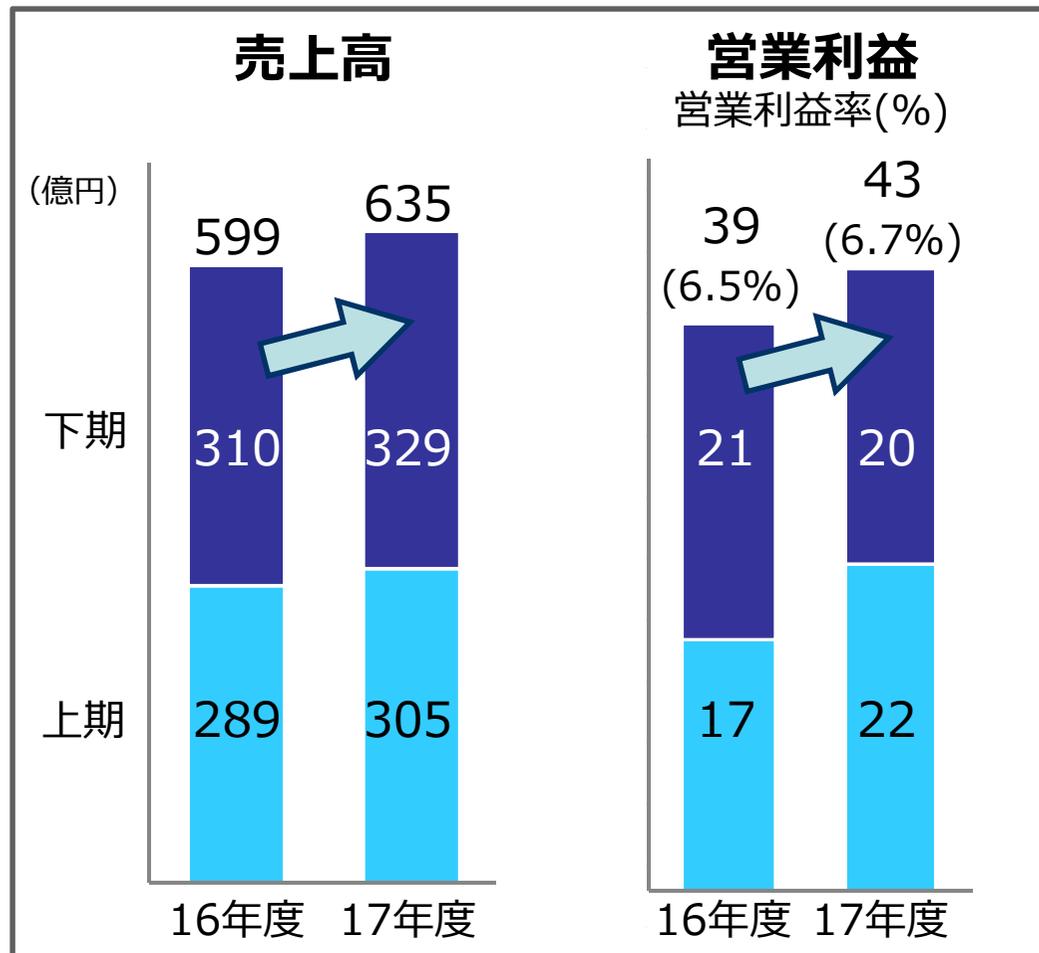
包装用フィルムは、想定以上の原燃料価格高騰で苦戦  
 工業用フィルムは、“コスモサインSRF”、セラコン用離型フィルムで販売拡大  
 機能樹脂は、国内外ともに拡販



- **包装用フィルム**
  - ・原燃料価格高騰で苦戦
- **工業用フィルム**
  - ・“コスモサインSRF”は、大手偏光板メーカーへの販売拡大
  - ・セラコン用離型フィルムは、拡販進む
- **機能樹脂**
  - ・インフラは、自動車用途で販売拡大
  - ・“バイオン”は、電子材料用途で拡販
  - ・光機能材料は、海外で好調 (水現像型感光性印刷版)

## 産業マテリアル

エアバッグ用基布は、海外拠点で本格生産開始  
 バグフィルター用PPS素材は、販売が回復



## ● エアバッグ用基布

- ・海外拠点で期後半に本格生産開始
- ・原燃料価格高騰の影響あり

## ● 生活・産業資材

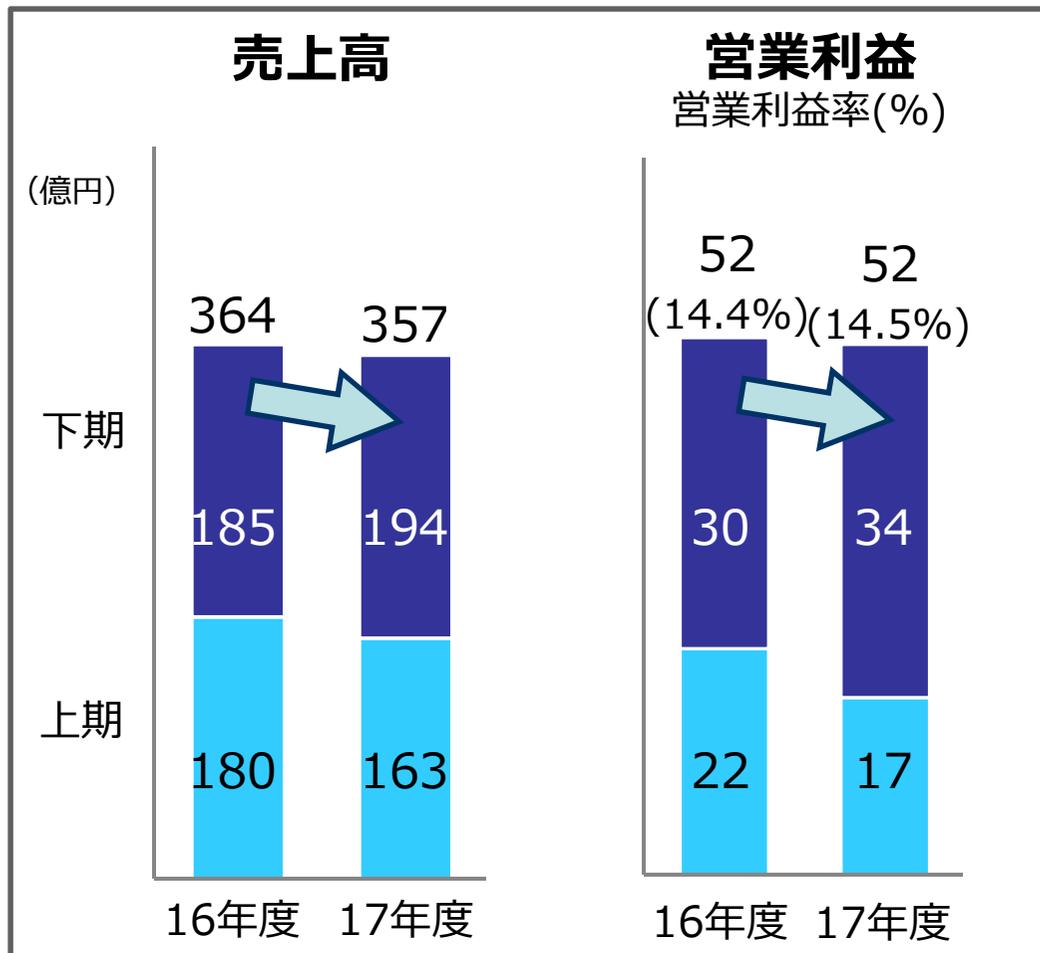
- ・PPS素材は販売が回復

## ● スーパー繊維

- ・"ツヌーガ"は手袋用途で販売拡大
- ・"イザナス"は堅調

# ヘルスケア

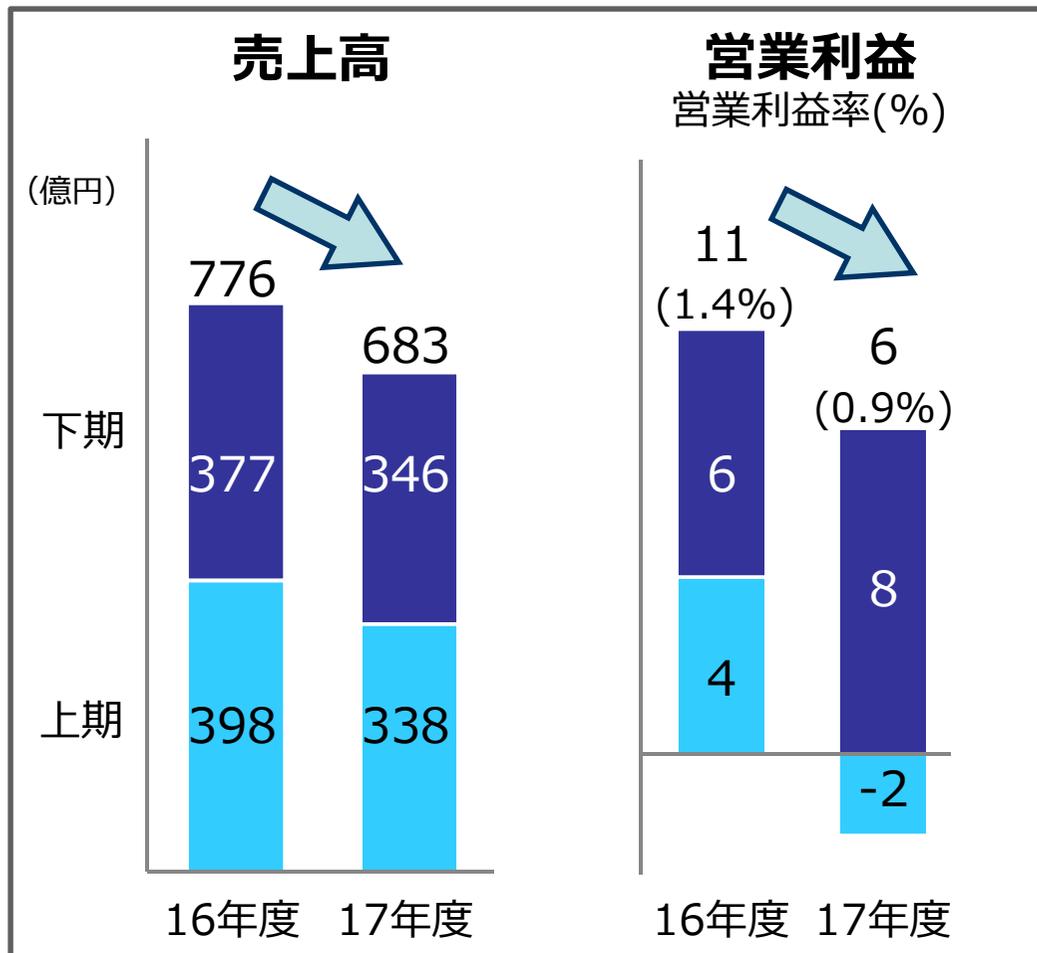
バイオ事業は、海外で拡販進む  
 医薬品受託事業は、GMP対応費用処理の影響あり



- **バイオ**
  - ・診断薬酵素、ライフサイエンス用試薬は海外への拡販進む
- **医薬**
  - ・GMP対応費用処理の影響あり
- **医療機器**
  - ・“ナーブリッジ”は、国内での適用症例数を着実に伸ばす
- **機能フィルター**
  - ・VOC回収装置は、中国で拡大

## 繊維・商事

中東向けトープは、市況の悪化で販売低調  
 スポーツ衣料製品は、在庫処理の影響あり



● **東洋紡STC (繊維)**

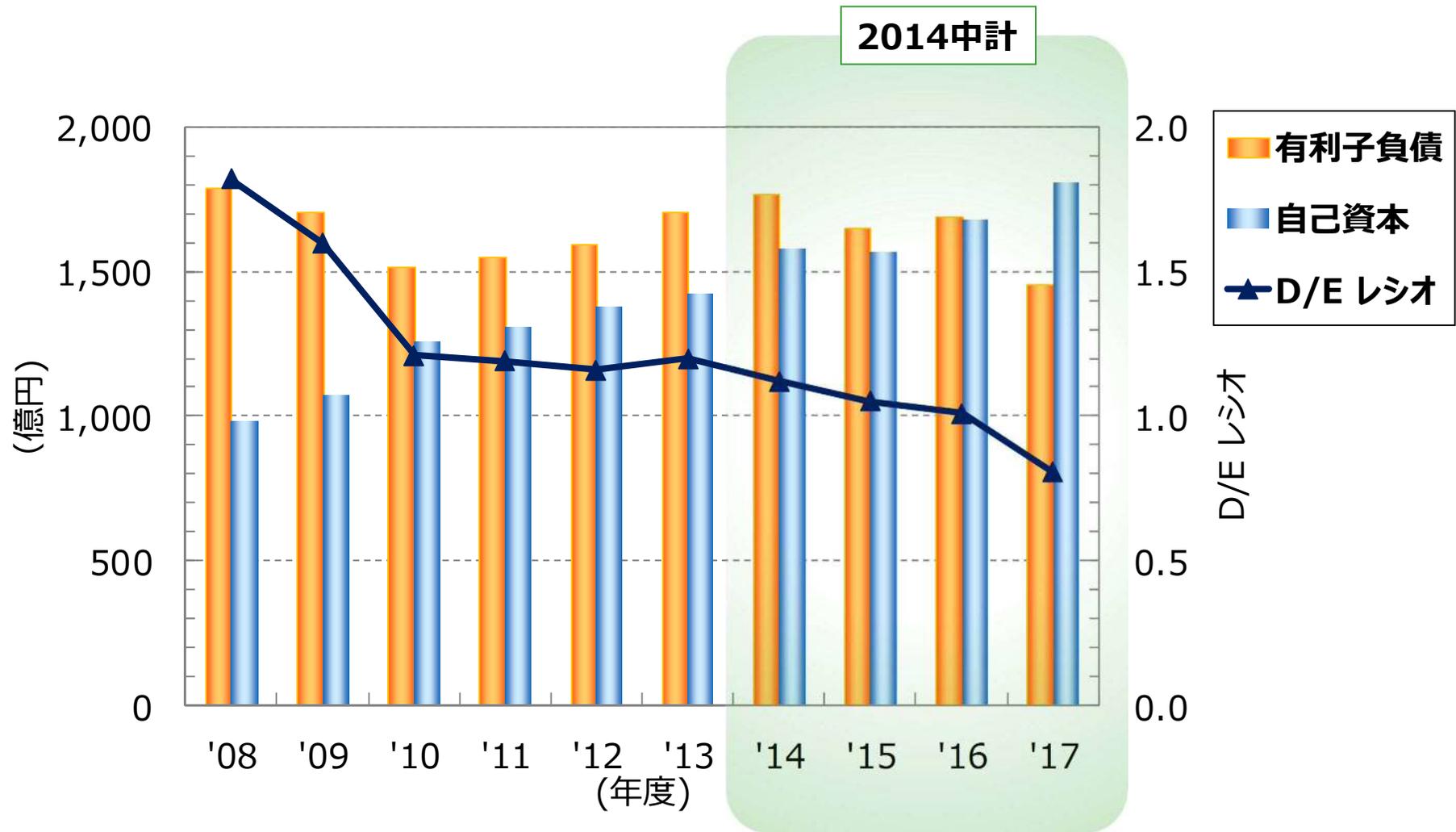
- ・ユニフォーム用途は堅調
- ・中東向けトープは市況悪化
- ・スポーツ衣料は、在庫処理の影響

● **海外関係会社**

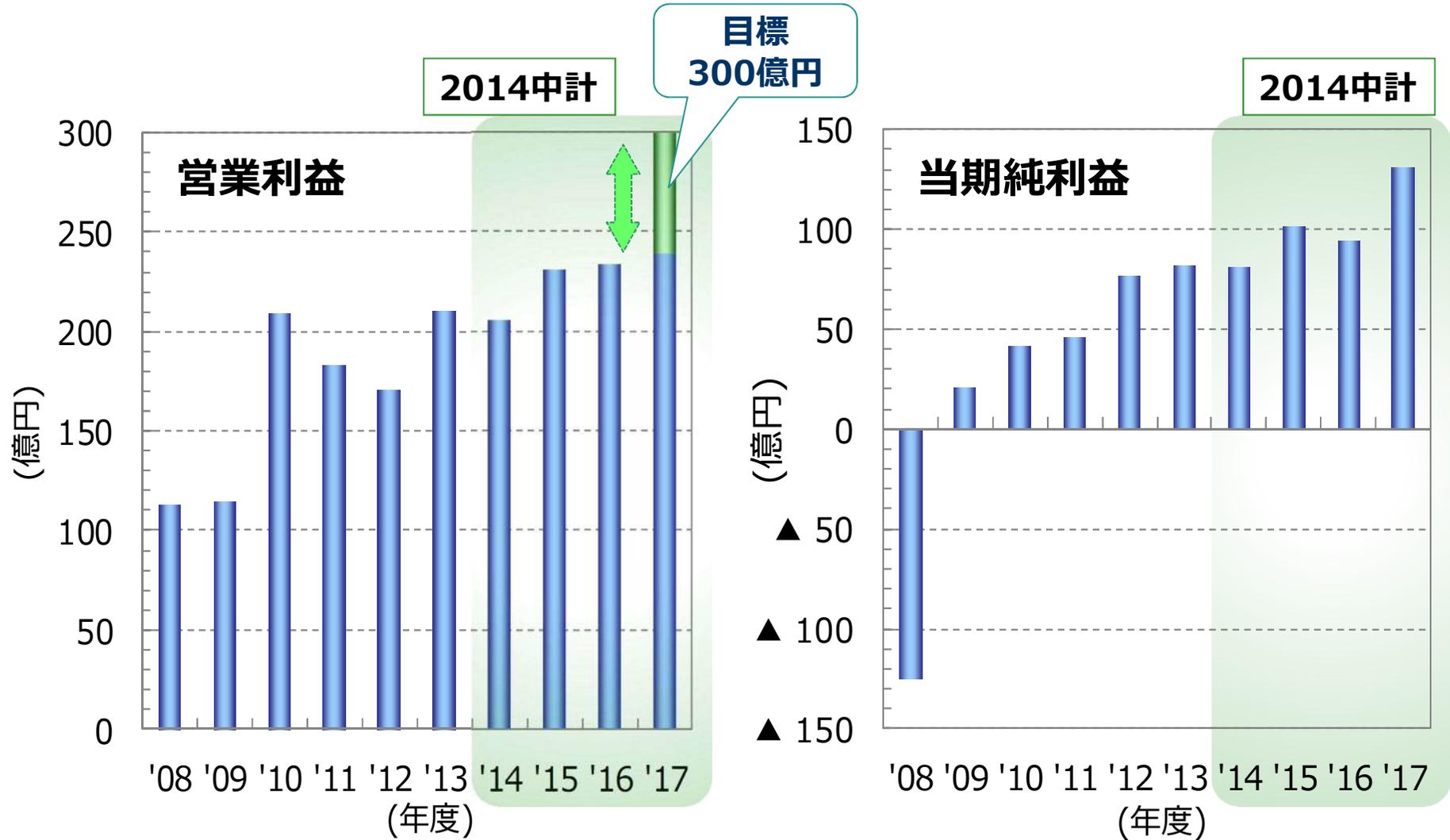
- ・16年度のブラジル繊維事業休止で減収

## Ⅱ. 2014年中期経営計画の総括

# 財務体質の推移



# 利益の推移



## 成長力

### ■ 海外展開の加速

#### ● エアバッグ用基布

- ・2014年に独PHP社買収、世界5拠点
- ・原糸から基布まで**一貫生産体制**
- ・海外顧客の認証取得、基布の**世界シェア3割を目指す**



#### ● エンプラ

- ・海外14営業拠点
- ・海外売上比率、**約50%まで販売拡大**

#### ● 包装用フィルム

- ・インドネシアに**合併会社設立**、海外展開へ

### ■ 新製品の拡大・新事業の創出

#### ● “コスタインSRF”

- ・液晶TVの偏光子保護フィルム
- ・**世界シェア約20%へ**



#### ● “ナーブリッジ”

- ・神経再生誘導チューブ、適用症例数を着実に伸ばす
- ・FDA承認取得。**米国パートナー確定へ**

#### ● “ゼノマックス”

- ・寸法安定性に優れる、高耐熱性ポリイミドフィルム
- ・長瀬産業(株)と**合併会社設立**、100億円事業を目指す

## コンプライアンス体制の再構築

### ■ 法令違反の内容

#### ◇ 子会社の制服販売に関する独占禁止法違反

- ・2016年9月 JR東日本、JR西日本への制服の納入に関して、公正取引委員会による立入検査
- ・2018年1月 公正取引委員会より独占禁止法違反があったとして排除措置命令および課徴金納付命令  
課徴金：合計 3.9百万円（納付済）

### ■ 再発防止策

- ◇ コンプライアンス体制の再構築
- ◇ コンプライアンス委員会の拡充、コンプライアンス部の新設
- ◇ グループ各社の管理職、営業・購買担当者に対し独占禁止法に関する研修を実施 など

### Ⅲ. 2018年度業績見通し

## 2018年度業績見通し

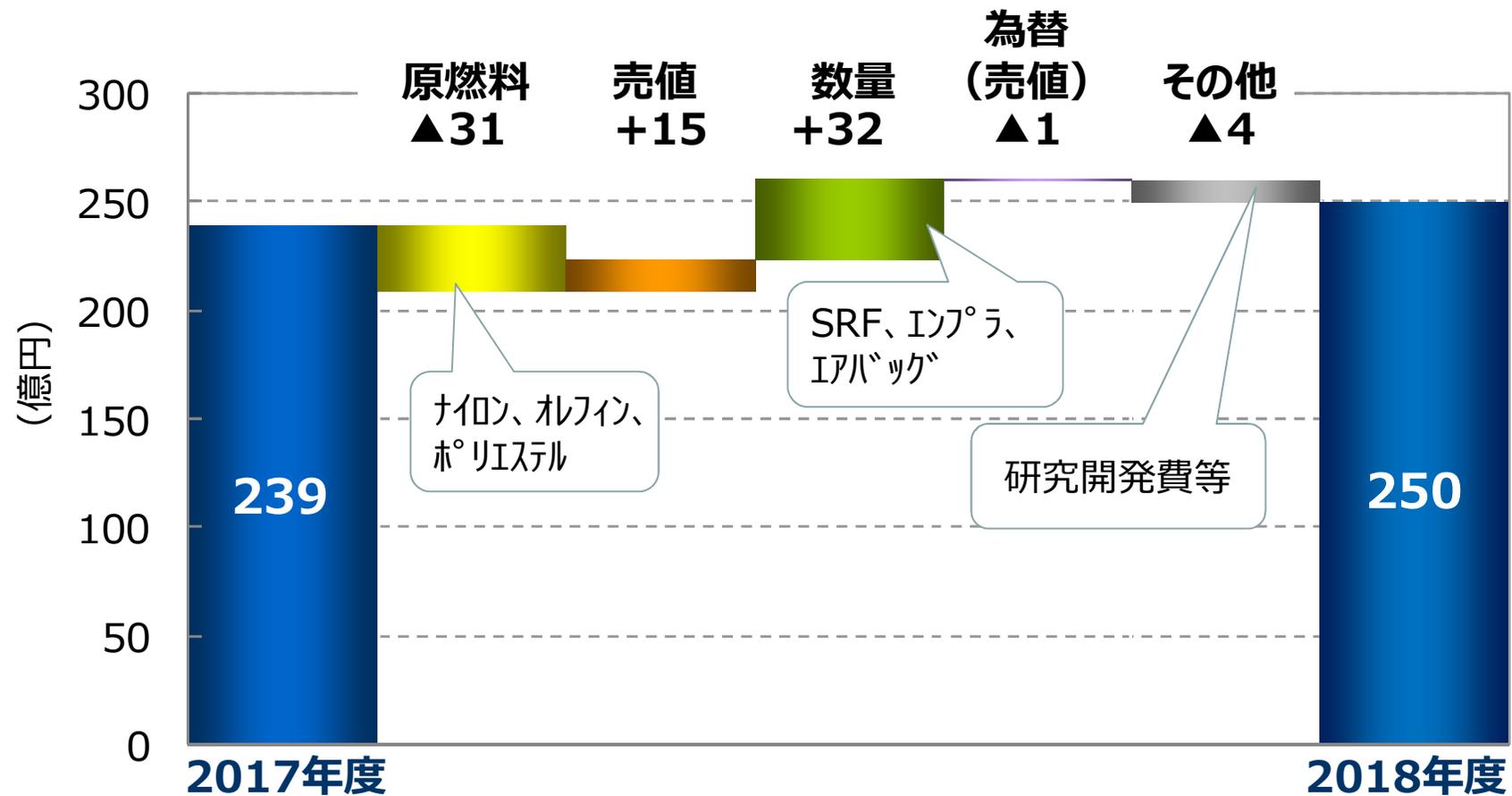
工業用フィルム、エアバッグ用基布の拡大を見込むも、  
原燃料高、将来への先行投資を織り込み、営業利益は250億円を予想

	2017年度 実績	2018年度 見通し	増減('17→'18)		(億円)
			金額	%	
売上高	3,311	3,400	+89	+2.7	
営業利益	239	250	+11	+4.5	
(営業利益率)	7.2%	7.4%	-	-	
経常利益	204	215	+11	+5.3	
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	130	-0	-0.3	
EPS (円)	146.9	146.4	-	-	
減価償却費	157	155	-2	-	
設備投資	213	240	+27	-	

為替レート (円/US\$) 111 110

国産ナフサ価格 (千円/kl) 42 48

## 営業利益の増減要因



	2017年度	2018年度
為替レート (円/US\$)	111	110
国産ナフサ (千円/kl)	42	48

## セグメント別見通し

(億円)

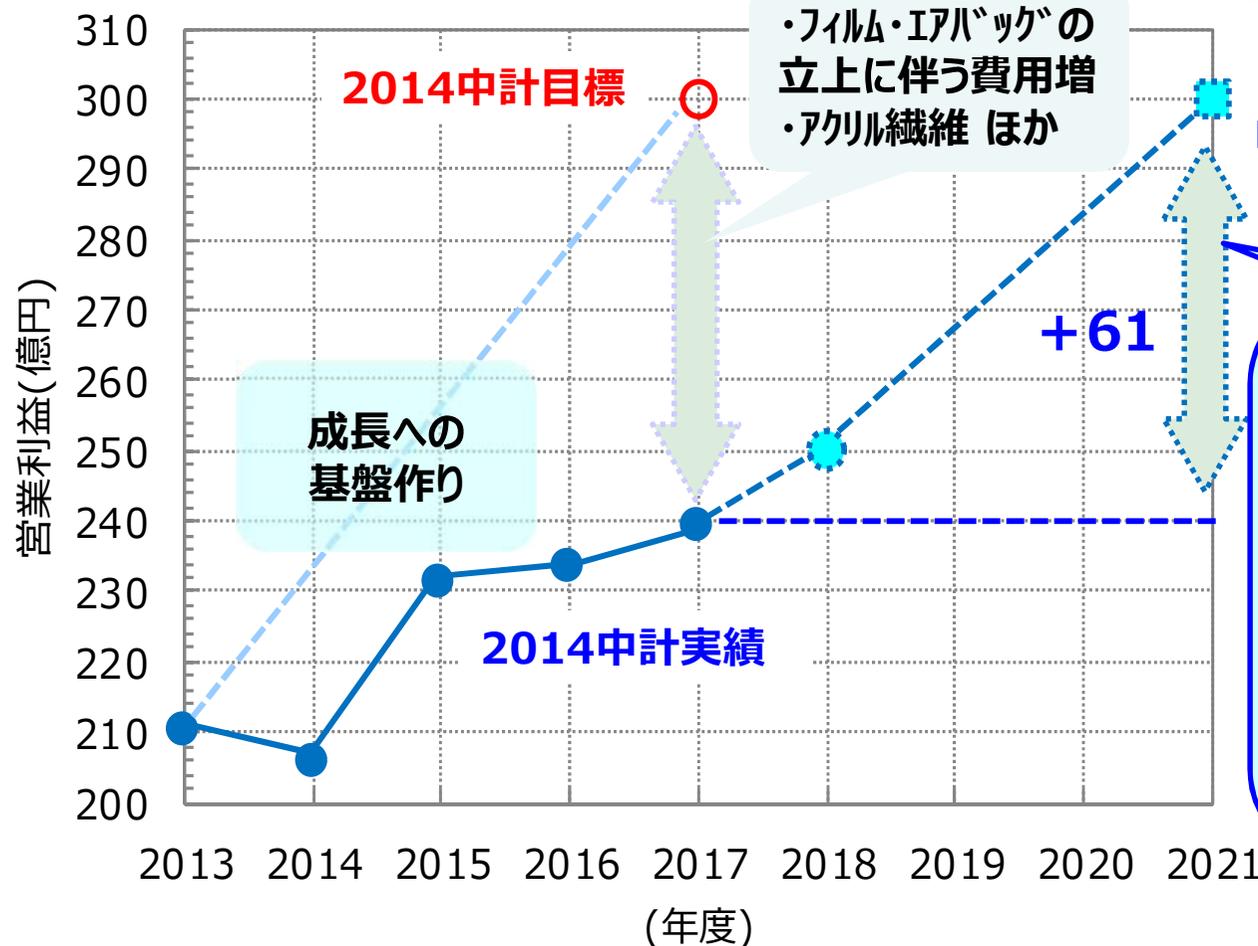
	売上高		営業利益		
	2017年度 実績	2018年度 見通し	2017年度 実績	2018年度 見通し	増減金額 ( '17→'18)
フィルム・機能樹脂	1,487	1,540	137	147	+10
産業マテリアル	635	670	43	49	+6
ヘルスケア	357	370	52	55	+3
繊維・商事	683	680	6	6	-0
不動産・その他	150	140	28	23	-5
消去・全社	-	-	-27	-30	-3
合計	3,311	3,400	239	250	+11

## IV. 2018年中期経営計画

# 2018年中期経営計画 全体戦略

営業利益300億円へ再チャレンジ

不断の  
ポートフォリオ改革



・フィルム・エアバッグの  
立上に伴う費用増  
・アクリル繊維 ほか

2018  
中計目標

+61

- <成長ドライバー>
- ・工業用フィルム
  - ・包装用フィルム（海外）
  - ・エンブラ
  - ・エアバッグ
  - ・機能フィルター 等

- <成長への投資>  
<事業ポートフォリオ改革>

重点施策

1 / 3 思考

3つの成長分野

- 成長分野への**経営資源集中**  
＜刈り取り＞の実行
- **事業別のKPI**  
メリハリ・重点化

各事業に適した  
事業運営の徹底

- **フィルム&コーティング**
  - ・“コスモシャイン SRF”
  - ・セラコン用離型フィルム
  - ・包装用フィルムの海外展開
- **モビリティ**
  - ・エアバッグ用基布
  - ・エンプラ

- 将来に向けた**先行投資**  
成長への仕込み

中長期新商品・  
新事業開発の強化

- **ヘルスケア&ウェルネス**
  - ・“ナーブリッジ”
  - ・骨再生誘導材
  - ・機能フィルター

- **組織風土改革**  
カエルプロジェクト

事業基盤強化

【オープンイノベーション】

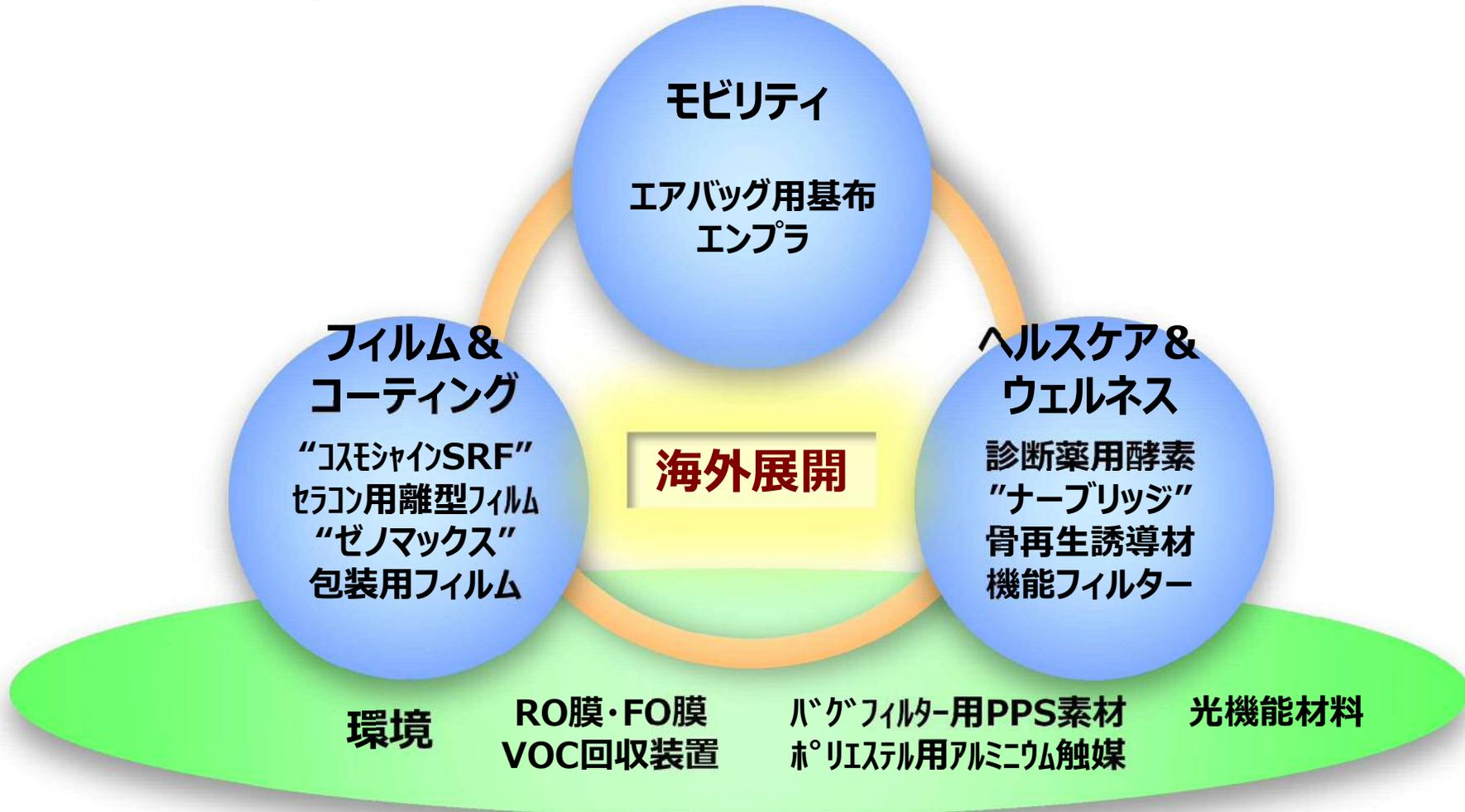
- 企業理念「**順理則裕**」  
**接戦を勝ち抜く**

# 定量目標

	2017年度 実績	2021年度 目標	増減 (‘17→’21)
売上高	3,311	3,750	+439
うち海外	961	1,315	+354
(海外比率)	29%	35%	-
営業利益	239	300	+61
(営業利益率)	7.2%	8.0%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	160	+30
ROE	7.5%	>8.0%	-
D/E レシオ	0.81	<1.0	-

	売上高		
	2017年度 実績	2021年度 目標	増減 (‘17→’21)
フィルム・機能樹脂	1,487	1,750	+263
産業マテリアル	635	790	+155
ヘルスケア	357	460	+103
繊維・商事	683	610	-73
不動産・その他	150	140	-10
消去・全社	-	-	-
合計	3,311	3,750	+439

社会に貢献する価値創り「順理則裕」



～ 共有価値の創造 Creating Shared Value (CSV) ～

環境、ヘルスケア、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけます

## ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社